

令和元年度 全国保健師長会近畿ブロック研修会報告

【テーマ】 ”未来を創造する公衆衛生看護活動の展開”—みる、つなぐ、動かす、保健師の原点から住民とともに創る未来—
『災害時に求められる統括保健師の役割と機能』

【日時】 令和元年8月24日(土)13時30分～16時30分

【場所】 国民會館住友生命ビル12階 大ホール(大阪市中央区大手前町)

【参加者】 143名(府県49 政令市43 中核市27 市町村24)

【内容】 ♥ 全国保健師長会活動報告

報告者 全国保健師長会 会長 山野井尚美 氏

♥ 研究報告・講演

「災害時に求められる統括保健師の役割と機能」

講師 大阪市健康局健康推進部 保健主幹 松本珠実 氏

○グループワーク

①自施設の災害時における統括保健師の役割②災害時に備えて自分自身取り組みたい事

【研修会の様子】

♥全国保健師長会活動報告



全国保健師長会の歴史・会の意義・役割、そして展開期である今、保健師活動の可視化等重点目標に向かい、会員とともに歩み育っていく会である！！と山野井会長の熱きメッセージに参加者も引き込まれ、全国保健師長会の理解が深まるご報告でした(^^)

♥研究報告・講演



講演はまず大阪北部地震の公私に渡る初動の話から始まり、災害時の統括保健師の①役割について②マネジメント機能の重要性③平時からの準備④スキルアップについて等具体的なお話をしていただきました(^^)

♥グループワーク



☆グループワークは府県、政令中核市、市町村ごとに分かれ、全25グループで、被災体験を有する自治体からの情報提供も交えながら意見交換を実施しました。

～意見交換から～

- ①平時からの保健師の役割が把握でき、他職種からも理解の得られる災害マニュアルを作成する。地域防災計画にも保健活動を位置づける事が大事である。
- ②保健師の参集計画が必要 ③誰でもわかるアクションカードの作成(全体の動きも見据えながらの活用)
- ④災害医療コーディネーター(災害拠点病院)との連携や訓練等重要
- ⑤情報収集、日頃からの顔の見える関係づくり⑥受援体制の整備

アンケート結果:参加者全員が「理解できた」「参考になった」と回答。その中でも6割が「とても理解できた」「とても参考になった」で、満足度の高い研修となった。

(報告者:近畿ブロック理事 丘 隆子)